

●彦根市子ども・若者プラン 達成状況

資料3-3

※ 達成率は、目標値との比較

分野と指標	担当課	現況 平成25年度	目標値	実績値(R01.12月末現在)					令和元年度		備考(令和元年度実績値、今後の方向の説明など)
				平成31年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率 (%)	
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり											
(仮称)彦根市子ども・若者支援センターの設置	子ども・若者課	未開設	1か所	未開設	1か所	1か所	1か所	1か所	100.0%	○	28年10月に開設。今後は機能充実を図る。
(仮称)彦根市子ども・若者支援ネットワークの整備	子ども・若者課	未整備	整備	未整備	整備	整備	整備	整備	100.0%	○	「彦根市子ども・若者支援地域協議会」代表者会議・実務者会議等を開催。地域の様々な支援機関等とネットワークの構築し、地域課題の整理と必要とされる機能等の明確化を図る。
関係機関・団体の実施事業の提言反映状況	子ども・若者課	701事業	840事業	-	-	-	-	-	-	-	青少年問題協議会(H25年度末までで廃止)からの提言について関係機関・団体において具現化された施策・事業数であるが、評価は26年度が最終年度となった。
2 子ども・若者の育ちに応じた支援											
子育てサポーター登録者数	子ども・若者課	64人	100人	48人	51人	52人	53人	49人	49.0%	▼	サポーターの登録数については、2年以上活動のない方を削除するなどの見直しを行ったことから減少している。毎年養成講座等を実施し、登録の拡大を図っている。
保育所待機児童の解消	幼児課	46人	0人	51人	63人	20人	29人	25人	45.7%	△	各年度、4月1日現在、待機児童数の記載。4月1日時点で、小規模保育所が1園の開園があった。
児童生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況(小学校)	学校教育課	65.2%	80.0%	68.4%	74.5%	76.0%	65.5%	-	-	-	※令和元年度から、全国学力学習状況調査の実施内容の変更に伴い、これまでの基礎・基本的な学習状況の数値が算出ができなくなった
児童生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況(中学校)	学校教育課	70.1%	80.0%	68.4%	67.3%	70.0%	70.0%	-	-	-	※令和元年度から、全国学力学習状況調査の実施内容の変更に伴い、これまでの基礎・基本的な学習状況の数値が算出ができなくなった
新体力テスト総合評価平均値(小6)	保健体育課	3.14点	3.33点	3.18点	3.38点	3.34点	3.20点	-	-	-	現段階で県による集計結果が公表されていない。
新体力テスト総合評価平均値(中3)	保健体育課	3.41点	3.64点	3.49点	3.53点	3.64点	3.54点	-	-	-	現段階で県による集計結果が公表されていない。
3 みんなが共に育つ子ども・若者への支援											
家庭相談件数	子育て支援課	474件	768件	638件	708件	737件	766件	822件	100.0%	○	年々相談件数が増えており、対応できるよう相談員の資質の向上に努めている。
ひとり親家庭への就労支援件数	子育て支援課	0件	25件	29件	26件	22件	35件	18件	72.0%	△	今年度は社会福祉課との連携を強め、児童扶養手当受給者だけではなく生活保護受給者等の生活困窮者へも、経済的自立に向けた就労支援を積極的に行った。ひとり親家庭の就労に配慮してもらえるよう、いきがいわくワークセンターへの登録事業開拓にも力を入れていきたい。
地域での学習支援教室の整備	子ども・若者課 生涯学習課	0か所	7か所	0か所	0か所	7か所	9か所	8か所	100.0%	○	子ども・若者課分は2か所(補助対象団体等)。(社会福祉協議会把握団体は5か所)。引き続き、各小学校区に1か所ずつ、地域での子どもの居場所(子ども食堂や学べる場)ができるように取り組んでいく。また、小・中学生を対象に放課後や土曜日等に学校等で実施する学習支援(地域未来塾)に取り組んでいく
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり											
むし歯のない3歳児の割合	健康推進課	80.4%	90.0%	79.5%	85.2%	85.6%	84.7%	88.1%	97.9%	△	幼児健診で歯みがき指導やフッ素塗布、歯科健診を実施して、口腔内の清潔について啓発していく。
夜9時まで(夜9時を含む)に寝ている子どもの割合	健康推進課	54.1%	59.0%	52.2%	50.9%	53.7%	54.6%	54.3%	92.0%	△	「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを乳幼児健診で配布を継続して行い、引き続き助言を行っていく。
次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定事業数	地域経済振興課	87事業所	100事業所	87事業所	84事業所	94事業所	94事業所	94事業所	94.0%	△	最新数値は平成31年3月末現在。次期計画では指標を見直し検討
小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数	まちづくり推進室	13団体	17団体	13団体	13団体	13団体	13団体	13団体	76.5%	□	市内17学区中、13学区で自主防犯活動団体が結成されており、残りの小学校区に対して結成の支援を予定していたが、設立までには至らなかった。今後も地域安全活動を促進するため未結成の校区に働きかけを行っていく。

分野と指標	担当課	現況 平成25年度	目標値 平成31年度	実績値(R01.12月末現在)					令和元年度		備考(令和元年度実績値、今後の方向の説明など)
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成率 (%)	達成 状況	
<b>5 教育・保育の整備</b>											
公立幼稚園からの認定こども園への移行園数	幼児課	0園	1園	0園	0園	1園	1園	1園	100.0%	○	プランに沿って整備を進める。
利用者支援事業実施箇所数	子ども・若者課 健康推進課	0か所	2か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	100.0%	○	H27年度に幼児課、子ども・若者課窓口において開設した。 H28年度から彦根市保健センターにおいて母子保健型を開設した。
時間外保育事業(延長保育事業)実施保育所数	幼児課	25園	33園	25園	25園	30園	33園	34園	100.0%	○	現在市内の全ての園で実施している。
放課後児童クラブ受入児童数	生涯学習課	918人	1,409人	1,158人	1,214人	1,355人	1,393人	1,497人	100.0%	○	全てのクラブにおいて、夏休み期間限定児童を含め、年間を通して入会を希望する児童を全員受け入れることができた。
子育て短期支援事業(ショートステイ)受入施設数	子育て支援課	2か所	7か所	2か所	7か所	7か所	7か所	4か所	57.1%	△	受入施設として滋賀県子どもと家族を守る家制度を利用してきたが、平成30年度末で終了したため、里親家庭2か所と委託契約を行った。
乳児家庭全戸訪問の訪問割合	健康推進課	89.3%	100.0%	89.9%	91.0%	91.3%	98%	90.6%	90.6%	△	転出者等があるため、100%ではないが、96%以上訪問を実施した。数回訪問しても留守の家があり、全数把握にはつながらなかった。
養育支援訪問件数	子育て支援課	1,313件	1,410件	1,408件	1,609件	1,641件	1,755件	-	-	○	訪問体制を整備し、効果的な訪問を実施する。
地域子育て支援センターの整備	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	100.0%	○	現在、子どもセンター、ピバシティ彦根、東山児童館の3か所。拠点施設での支援の充実を推進する。
公立幼稚園における水曜日の預かり広場の実施	幼児課	0園	9園	0園	0園	9園	9園	9園	100.0%	○	平成27年度から3歳児へ預かり広場を拡大。平成29年度からは、水曜日の預かり広場を全ての公立幼稚園で実施し、今後は継続、拡大を目指す。平田幼稚園は平田こども園に移行し実施。実質達成率100%
保育所における一時預かり事業の実施	幼児課	18園	25園	17園	19園	20園	22園	15園	60.0%	▼	幼児教育・保育の無償化制度の導入に伴い、制度上、一時預かり事業の実施園は届出が必要となり、15園が届出。
病児・病後児保育事業の実施	幼児課	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	100.0%	○	定員を4人から6人に拡大した。
ファミリー・サポート・センター提供会員の確保	子ども・若者課	182人	190人	181人	182人	181人	181人	193人	100.0%	○	利用件数は減少傾向にあるが、一定のニーズはあり、引き続き提供会員の確保に努める。
妊婦健康診査 受診回数	健康推進課	12,371回	15,400回	12,241回	12,417回	11,249回	10,851回	6,484回	42.1%	▼	母子手帳交付時の面接で妊婦健診について説明をし、妊婦健康診査受診券を配布している。
計画目標値の達成率				66.7%	77.6%	89.3%	91.4%	-	86.0%		

※達成率は、(令和元年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。

■「彦根市子どもの貧困対策計画」達成状況

資料3-4

基本視点1 子どもたちの学びを応援

まとめ

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成31年度 目標値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	実績値 [R01.12.31現在]	令和元年度		関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
							達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見			
1	地域子育て支援センターの整備	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	○	継続してセンターでの事業内容の充実を図る	【1】①	子ども・若者課	子ども・若者プラン(再掲) 地域子育て支援センターの整備の進捗状況がわかります。
2	家庭支援推進保育士の配置	9園	13園	9園	11園	11園	△	対象家庭の実情に合わせて適切な支援を実施してゆく	【2】②	幼児課	家庭支援推進保育士の配置の進捗状況がわかります。
3	保育所一時預かり事業の実施	19園	25園	20園	22園	15園	▼	事業継続し、子育て環境の向上を目指す。	【2】③	幼児課	子ども・若者プラン(再掲) 一時預かり事業の取組の進捗状況がわかります。
4	保育所待機児童の解消(4月1日現在の待機児童数)	51人	0人	20人	29人	25人	△	H31の無償化に伴いニーズ量が増加する可能性がある	【2】⑤	幼児課	子ども・若者プラン(再掲) 保育ニーズに対する取組の進捗状況がわかります。
5	児童生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況(各年度の結果)	小 74.5%	小 80.0%	小 76.0%	小 65.5%	-	-	※令和元年度から、全国学力学習状況調査の実施内容の変更に伴い、これまでの基礎・基本的な学習状況の数値が算出ができなくなった	【3】①	学校教育課	子ども・若者プラン(再掲) 80.0%を目指すために、授業改善や学力補充、支援員の配置などに取り組みます。
		中 67.3%	中 80.0%	中 70.0%	中 70.0%	-	-	※令和元年度から、全国学力学習状況調査の実施内容の変更に伴い、これまでの基礎・基本的な学習状況の数値が算出ができなくなった			
6	就学援助認定基準の拡大	生活保護の基準の1.2倍	拡大	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	□	生活保護の基準については、平成25年8月の改正前の基準を使用しており、生活保護基準見直しの影響を受けないよう配慮をしている。	【3】⑥	学校教育課	就学援助認定基準の拡大に向けた取組の進捗状況がわかります。
7	スクールソーシャルワーカーの配置	1名配置	2名配置	1名配置	1名配置	1名配置	□	スクールソーシャルワーカーの派遣により、子どもの取り巻く環境の改善を図ることができ、今後も継続して配置していきたい。	【6】①	学校教育課	スクールソーシャルワーカーの配置の進捗状況がわかります。
8	地域での学習支援教室の整備	1か所	7か所	7か所	7か所 2か所	小学校7校、中学校7校 8か所	○	「地域未来塾」として市内7か所(全中学校)で9教室開設し、各中学校の状況に応じて学習を深めたい中学生や家庭の事情等で家庭での学習が困難な中学生に対して、地元の大学生や地域の教員OB等が学習支援員となり学習支援を行った。市内7小学校においても、放課後や長期休業日に学習支援を行った。学習支援員の安定的な確保が課題となっているので、今後はさらに事務局と学校が連携を深めて学習支援員の確保に取り組んでいく。 「学べる場」は2か所(補助対象団体等)。(社会福祉協議会把握団体は5か所)。引き続き、各小学校区に1か所ずつ、地域での子どもの居場所(子ども食堂や学べる場)ができるように取り組んでいく。	【7】	生涯学習課 子ども・若者課	子ども・若者プラン(再掲) 学力支援教室の整備の進捗状況がわかります。中学校区に1か所の整備を目指します。
9	放課後などの学習支援員の登録者数	23人	35人	96人	96人	108人	○	地域未来塾事業は、中学校だけでなく小学校でも実施するようになり、学習支援員が増加した。	【7】①	生涯学習課	学習支援員の確保に向けた取組状況がわかります。

基本視点2 子どもたちの育ちを応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成31年度 目標値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	実績値 [R01.12.31現在]	令和元年度		関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
							達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見			
10	放課後児童クラブ受入児童数	1,214人	1,372人	1,355人	1,393人	1,497人	○	全てのクラブにおいて、夏休み期間限定児童を含め、年間を通して入会を希望する児童を全員受け入れることができた。	【10】①	生涯学習課	子ども・若者プラン(再掲) 放課後児童クラブのニーズに対する取組の実施状況がわかります。
11	子ども食堂・学べる場の整備	0か所	17か所	7か所	9か所	14か所	△	子ども食堂7箇所、学べる場7か所。引き続き各小学校区に1か所の17箇所の整備をめざしていく。	【11】②	子ども・若者課	子ども食堂・学べる場の整備状況がわかります。
12	フリースペースの整備	0か所	3か所	2か所	2か所	2か所	△	ふるさと、さざなみ苑の2箇所。 平成31年度以降の制度や支援方法等を検討した。	【11】③	子ども・若者課	フリースペースの整備状況がわかります。
13	若者の居場所の整備	0か所	3か所	2か所	2か所	2か所	△	「サロンなないろ」、「通信サロン」の2箇所。 3箇所目の居場所の整備を要する。	【11】④	子ども・若者課	若者の居場所の整備状況がわかります。
14	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	○	目標は達成しており、支援側が見てきた参加者の様子からは、当事業が目標に掲げる自己肯定感の向上が確認できた。	【11】⑤	子育て支援課	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備状況がわかります。

基本視点2 子どもたちの育ちを応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成31年度 目標値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値 [H31.3.31現在]	実績値 [R01.12.31現在]	令和元年度		関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
							達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見			
15	ショートステイ受入施設数	2か所	3か所	7か所	7か所	4か所	○	受入施設として滋賀県子どもと家族を守る家制度を利用してきたが、平成30年度末で終了したため、里親家庭2か所と委託契約を行った。	【12】	子育て支援課	子ども・若者プラン(再掲) 子育て短期支援事業の取組の進捗状況がわかります。
16	いきがいわくワークセンターにおける就労決定件数(H28年度開設)	—	50件/年間	18件	31件	26件	△	32件の就労支援に対し、31件の就労決定となった(就職率96%)。求職者のニーズや特性に対応し、多岐に渡る求職者の就労決定につなげられるよう、センターへの登録企業の開拓も行っていく。	【14】①	社会福祉課	センターにおける就労支援の取組の進捗状況がわかります。
17	自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数	8人(H27実績)	9人	15人	11人	9人	○	助成対象者に対しては、受講中から対面によるフォローを行いながら、修学状況の把握と求職活動に向けた情報提供を行った。	【14】②	子育て支援課	教育訓練・職業訓練の取組の進捗状況がわかります。
18	ひとり親家庭向け市営住宅の募集	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	○	和田東団地1戸の募集に対し5件の応募があった。	【17】②	建築住宅課	ひとり親家庭向け市営住宅の募集状況がわかります。

※No.11子ども食堂・学べる場の整備、No.12フリースペースの整備の現況値については、滋賀県社会福祉協議会滋賀の縁創造実践センターの補助で実施されているものもありますが、本計画の現況値としては「0か所」としています。なお、彦根市内ではこの補助を受けて、子ども食堂が5か所、フリースペースが1か所実施されています。(平成29年1月現在)

基本視点3 みんなで応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成31年度 目標値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値 [H31.3.31現在]	実績値 [R01.12.31現在]	令和元年度		関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
							達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見			
19	子どもの貧困に関する相談窓口の開設	未開設	開設	開設	開設	開設	○	彦根市子ども・若者総合相談センターに機能追加。子ども・若者支援と子どもの貧困対策との役割分担や整理がしづらい。平成30年度から「子ども応援コーディネーター」は保育所・幼稚園等を訪問等をして支援し、教育等と福祉とをつなぐ役割へ変更した。令和元年度は中学校卒業以後にも活動範囲拡大を図ろうとしている。	【18】①	子ども・若者課	相談窓口の開設状況がわかります。
20	むし歯のない3歳児の割合	79.5%(H27実績)	90.0%	85.6%	84.7%	88.1%	△	継続的に歯科受診されている人もいるが、お菓子やジュースなど時間を決めずらと与えている人や兄弟に合わせたお菓子を与えているなどもある。歯科衛生士や保健師が口腔内の清潔、食事内容、ケアの方法などの指導を継続して、虫歯の予防や啓発していくことが重要である。	【18】④	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲) 子どもの口腔状態は、保護者の子どもへのかかわりや食生活も影響することから、保護者の養育状況を図る指標になります。
21	関係機関による支援ネットワークの整備	未整備	整備	整備	整備	整備	○	彦根市子ども・若者支援地域協議会に、子どもの貧困対策に関する機関等を構成機関へ追加して活動した。	【19】①	子ども・若者課	支援ネットワークの整備状況がわかります。
22	乳児家庭全戸訪問の訪問割合	89.9%(H27実績)	100%	91.3%	98.0%	90.6%	△	転出者や長期里帰り等で4か月までの全数把握はできなかったが、4か月健診や相談事業等で状況把握に努め、長期的に支援していくことが重要である。	【20】①	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲) 乳児家庭全戸訪問の訪問状況がわかります。
23	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備	未整備	整備	整備	整備	整備	○	貧困や生きづらさのある子どもの居場所(子ども食堂や学べる場など)づくりに関して、子どもたちを応援する地域や支援者を、人材育成から活動の運営までトータルにサポートする「ひとづくり・地域づくり事業」を社会福祉協議会へ委託して実施した。	【21】①	子ども・若者課	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備状況がわかります。
24	支援対策ガイドブックの作成	未整備	作成	作成済	作成済	作成済	○	子どもの貧困対策に関する支援情報等を掲載した「彦根市子どもたちの学びと育ち応援ガイドブック」を彦根市社協と彦根市子ども・若者総合相談センターと協働で製作済み。情報更新作業を行っている。	【24】	子ども・若者課	ガイドブック作成の進捗状況がわかります。
25	庁内体制の整備	未整備	整備	プロジェクトで検討中	実務者会議へ引き継ぎ	実務者会議へ引き継ぎ	△	彦根市子どもの貧困対策計画推進の「プロジェクト・チーム」は子ども・若者支援地域協議会実務者会議へ引き継いだ。	【25】①	子ども・若者課	庁内体制の整備状況がわかります。

※現況値は、平成28年4月1日現在の数値(異なる場合は記載しています。)

※令和元年度実績値は、令和元年12月末時点の状況とします。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。

年度	H29	H30	R01
目標達成項目	12	13	12